公共料金「値上げ必要ない」

美濃代議士 国会報告会

第五区選出の社会党代議士の美濃政市氏は二十日に陸別町、二十一日に足寄町、二十二日に本別町でそれぞれ国会報告会をひらきましたが、そのなかでの主な発言はつぎのとおりでした。

資本家擁護の税制

ことしの春斗は物価上昇に対する一五％のガードラインを国民にかぶせたが、しかしそれを下まわる条件でたとえば民間のベースアップは一三・一％、農産物購入する必要はないと思う。物価が一四％、米価が一四・四％、麦価は一〇・二％、そういうふうにインフレ下において農産物も賃金も五％を割って強硬に国民に押しつけ、片や政府は国会に諮、たとえ、郵便料金の値上げ法案を出してしまい、社会党としてはけしからん、しかし財政を補強しなければ福祉その他が後退するが、日本の財政が収支のつかないほどに落ち込んだとは考えない。大蔵官僚はやる気になっているが財界から献金をうける自民党は押えているが、なにかという非課税になっている貸倒れ引当金一兆二千億円で、全部とはいわず半分に課税すれば二千五百億円、もうひとつは法人企業が利益のなかで非課税となる価格変動引当金でインフレのなかでもかけ下らないので在庫品はとっている、値下りのための引当金はいらないので千円に対して二円五十銭が非課税でこれも一兆円で半分に課税しても二千五百億円、もうひとつは勤労者は夫婦と子供二人で勤労控除二十万円を加えてやっと五十万円なのに、株の配当は二百万円まで無税、分離課税でほかに大きな所得があっても税金をかけない、全く財界優先で資本家擁護の税制といわざるを得ない、こんどの臨時国会でこれだけでも改正して年度内課税をすれば七十億や八千億が出てくる税制を改正するとともに才出を調整して、いまこれだけ平和なときに一機六十億円の戦斗機を百八十機も購入する必要はないと思う。才出を減じて一兆円を修正すれば、いま値上げしようとしている公共金の三千五百億円、九月からの米価引上げ一千億円で合せて四千五百億円だからまだ財政に余裕がある、真に国民が困っている福祉の向上やその他かやれる、だから公共料金の値上げは絶対にまかりならん

解散総選挙は必至

臨時国会がはじまるとまず才一に政府は公共料金の値上げを再提出してくるが私どもはこの考え方を貫いていくから会く正面衝突の対立となる

田中内閣にかわったのだから国会を解散して信を国民に問うべきで、頬冠りをして罪を国民に転嫁することは許されない、野党としては三木内閣に二者択一を迫る、そのひとつは三木内閣の総辞職であり、もうひとつは解散であり、国民の英知で保革接ぎをはかり、あるいは保革逆転をめざす、そのなかで強力な迫った場合、解散となる、マスコミの記者会見では絶対にしないといっているが、いまま総理大臣が解散をすると一度もいったことはないが、佐藤内閣では三回もやった解散の条件はこの臨時国会では必至の条件で動いていく、二週間くらい前になると何月何日とわかる、その時期になっても総理は当分はしないという、これはウソというよりもいえない条件にある

自社なれあいなし

前国会で公職選挙法の改正について自、社なれあいといわれたが、特別委員会があって各党が改正案をもちより社会党案に自民党が大巾に同調してきたので党議で決定した、この前の選挙で三万票以下で当選した選挙区もあれば十万票をとって落選した選挙区もあるが、社会党は過疎地帯を軽みないで定数をへらさず二十名の増員とした、つぎに政党機関紙の号外の個人版は禁止して、個人版公報を二種類発行することにして選挙公営を拡大したが、政令に任せられた部分をどうするか監視していく

社会党の政策は—

昨日、陸別で社会党に政策はないのではないかーとの意見があったが、社会党の政策というものは具体的な内容は、自民党は財界オンリー、財界よりの政策や法律案を押しつけてくるが社会党はそれに対して国民大衆の与論を積みあげ、それを政策にしている、たとえば国有林については全林の甘味資源対策委員会の責任者をしており、まず才一題、農政問題は農協中央会になぜ十月一日に延ばしたのかというと、糖安法により価格の決定は政令事項で先行して農民春斗をなだめ法律をつくったとき自民党があげる、そうしないと間遠いをおこす、社会党の国民戦線綱領を元委員長の勝間田清一先輩が苦労して決定している、それぞれの与論の多数で国会の承認事項でなく農林大臣の権限にした十月一日までに改正することを農林水産委員会が付託した、この問題は農業基本法から出ており他産業に農業所得を均衡せしめると記している、農業基本法は宜言立法だから農林省の事務局は法律、政令どおりに計算し、家族労賃であれば二月末で労働省が発表した労賃が採用される、だから私どもは政府が配慮する前に全農総連、全中の方々に部屋へきてもらって意見をきいた、ビート価格を農民が要求する価格にするには、労働組合の春斗にいる、地域問題は党支部から先行して農民春斗をなだめ法律をつくったとき自民党が多数で国会の承認事項で農林大臣の権限にした十月一日までに改正することを農林水産委員会が付託した、この問題は農業基本法から出ており他産業に農業所得を均衡せしめると記している、農業基本法は任せられた部分をどうするかの問題は十月一日に延ばしたのかというと、糖安法により価格の決定は政令事項で先行して農民春斗をなだめ法律をつくったとき自民党が多数で国会の承認事項で農林大臣の権限にした十月一日までに改正することを農林水産委員会が付託した、この問題は農業基本法から出ており他産業に農業所得を均衡せしめると記している、農業基本法は

ビート価格の問題

（このあとビート価格問題の質問に答えて）社会党で、これに対して天野議員　災害復旧費の

災害復旧予算で論議

本別町議会

臨時第四回の本別町議会は十九日午前十時に井出、朝日の四議員（欠席はひらき）会期を一日としてただちに議案に入り、町道北八丁目生活道路盤改良工事を五千七十万円で野田組と請負契約（工期は十月三十一日）を上程して、藤田施設課長から工事内容の説明があって異議なくこれを議決し、つづいて一般会計予算補正として公共土木施設災害復旧費四千二百二十八万四千円を上程

工事内容は

△美里別東中横断道路　二五七万二千円

△迫名牛一線道路一号橋　九三九万七千円

△バンケ向陽川（公住地先）

一、六六三万四千円（山沿）

△同

一、一〇七万四千円

△追名牛一線道路一号橋

二五七万二千円

△美里別東中横断道路

九三九万七千円

△バンケ向陽川（公住地先）

一、六六三万四千円（山沿）

△同

一、一〇七万四千円

で、これに対して天野議員　災害復旧費のうちの給料というのは、災害復旧に関する給料なのか

水元町道　今回の災害復旧工事に関して国としては認められるもので、使わなければ使わなくてもよいが、範囲内で当然かかるものでそこで先に議決を頂いた総体の人件費はこんどの補正によって減額することになろう

天野議員　それは違うのではないか、これはあくまでも災害復旧工事に必要な人件費であり、それを給料と結びつけるのは抵触しないか

水元町長　それは災害復旧のため町のおこなう一般業務のほかに新たに災害がおこったためで、したがって災害復旧費で認められている、一般の人件費とは違うと想して人件費を計上しているのではないか、

水元町長　していない、

天野議員　災害のあることを予想して人件費を計上

水元町長　していない、

通常の業務に必要な経費でしたがつてこうした問題が出てくれば当然それだけ余分な経費がかかる、職員の数をふやさなくてもそれだけ過重な負担となるなどの質疑があって原案どおりに議決して、三十分で閉会しきした。

足寄町自治会連合

足寄町自治会連合会地区連合長会議は二十六日に町役場会議室でひらき、会長に大野剛氏（下愛冠）副会長に国見進氏（南一区）安司氏（五十鈴）三津橋政一氏（大誉地）菅原武雄氏（中足寄）を選びました。

理事は正副会長以外の地区連合会長で

高本修司氏（中央五区）

横山喜三郎氏（西二区）

西田正夫氏（北一区）

河内一夫氏（東二区）

香川博彦氏（共励）

鹿山誠氏（喜登牛）

飼取五太郎氏（愛冠）

菅原春吉氏（稲牛）

木村寅三郎氏（ラワン）

小宮山四郎氏（上足寄）

裏南竹松氏（足寄太）

熊沢清氏（中矢）

監事は

佐藤立夫氏（南三区）

松井清和氏（東一区）

となっています。

まだ地区連合会のできていないのは芽登と上利別の二地区で、芽登は範囲がひろくまとまりがついていないようで、上利別では連合会の結成は時期尚早といった意見もあって足並みがそろっていないようで、全町百十二の自治会を連合して町づくりのためせっかくの連絡協調組織はいま一歩というところで二地区だけを残した形でスタートすることになりました。

訂正

本紙前号の中元広告中、足寄営林署の分はつぎのように訂正いたします

署理官　長尾弘

庶務課長　杉山浩進

経理課長　屋屋正昭

経営課長　益村義英

事業課長　竹島準

駒井悟

明るいスナック シャンブル
足寄町南一区 T 二〇二三

庭石は道東随一の当会社へご用命下さい
有限会社 大浦造園
造園 土木 造林 造材 請負
足寄町芽登 T 五二
庭石販売店 足寄有放 T 二四六六

大自然のなかの人工美
観光と保養の 芽登温泉
いで湯のふるさと
足寄町芽登 T 二八五五

霊きゅう車 葬儀仏具一式 花輪 生花
㊞自動車 新津はなや
足寄町西三区 T 二六二六

カメラ 八ミリ 写真材料
上野カメラ堂
上野復興
足寄駅通り T 二五一三

新畳 表替 中古畳 フスマ張替
二段ベッド 敷物一式 マットレス
小林畳店
小林幸三郎
足寄町大通り山口整骨院前 T 二四二八

技術と納期を誇る！
家具 建具 製造販売
住宅内装に新建材を！
佐藤家具建材店
足寄駅前 電話二二二一番

家具と建材
信用は最大のサービス

秋の衣料が大量に各産地から続々入荷しております
ゼヒとも御用命くださいますよう御願い申しあげます
近く京呉服展示会を開催いたします
株式会社 前田呉服店
足寄町駅前商店街 T 二〇二三